



2008～09 年度
国際ロータリー会長

李 東 建

Weekly Report Niigata



2008～09 年度
新潟ロータリー会長

柴 田 史 郎

新潟 RC 4 月第 1 例会 (2009.4.7) No.2795

(1) 「君が代」 斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱

(2) 柴田 史郎会長挨拶

本日は前橋 RC の観桜例会に招待されていますので、例会が終わり次第総勢 16 名にてバスで行ってまいります。

さて、本日は第一例会ですので、むこう 3 ヶ月の予定表ならびにロータリーの綱領・4 つのテスト・ロータリーのモットーなどを書きました文書をお配りしました。

本日は、SERVICE ABOVE SELF (超我の奉仕) につき一緒に考えてみたいと思います。これは 1911 年にミネアポリス RC の会長であったコリンズと言う人が演説の中で述べた言葉で、もともとは ABOVE SELF ではなく NOT SELF であったようです。そのまま読みますと、「自己を犠牲にして、他人に奉仕すること」を強いているように見えますが、その解釈は間違いなのです。

当時のロータリークラブでは会員相互の商取引が盛んに行われており、この会員同士の取引をロータリアン以外にも広めようというのが SERVICE NOT SELF のもともとの意味であったのです。決して宗教的あるいは人類愛に基づいたというようなスローガンではなかったわけです。しかし、一部の人が「自己犠牲に基づく他人への奉仕」と勝手に解釈し、その上で自己を否定した上での [奉仕] はおかしい、自己の存在を肯定した上で他人への奉仕とすべきと考え、NOT SELF を ABOVE SELF と変えたようです。

ですから、「超我の奉仕」と訳されてはいますが、本来的な意味は其の訳語とは少し違うということになります。ABOVE は SERVICE と SELF を並列に結ぶ単語と考えるべきものといえそうです (田中 毅氏による)。

ロータリーの職業奉仕に通じる考え方、即ち売り手よし、買い手よし、世間よしといった、自らの職業を通して [自己の欲望と] 「他人のために」のハザマで、自らの倫理観を高めていくことをうたったモットーと考えるべきものようです。1950年にロータリーのモットーとして採択されています。

(3) 米山奨学生挨拶、奨学金伝達

アロンソ・デ・レオン・ダビド君

(4) 会員スピーチ「R 情報のお話」

R 情報委員 横 村 正 一 君

4 月 14 日の例会予定

「観 桜 例 会」

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>